

## **闘牛場：なくさみ館**

この全天候型のアリーナは、闘牛（togyu）の試合を開催するために 2012 年に建設されました。18 世紀から続く古い伝統である闘牛は、当初、農作業の疲れを癒す娯楽の一種として生まれました。今日、闘牛は絶大な人気を誇る催しとして存続しており、お気に入りの牛を応援するために集う幅広い年齢層の熱心な観客を惹きつけています。日本の闘牛はスペインの闘牛とは異なり、勢子と呼ばれる「コーチ」に鼓舞されながら牛同士が戦います。一人の審判が試合を監督し、最終的な勝者を決めますが、大半の試合は片方の牛が背を向けるか退くかして決着がつきます。相撲の取組と同様、闘牛の試合はほんの数秒で終わることもあれば、数十分にも及ぶこともあります。体重が 1 トンを超えることもある闘牛の雄牛たちのパワー、スタミナ、テクニックを鍛え上げるため、餌や訓練には細心の心配りと注意が払われます。

## **展示と上映室**

闘牛の入場口の左側には、ビデオやポスター、伝説的な闘牛たちの写真など、この催しに関する資料を見ることができる展示・上映室があります。入場料は 15 歳未満 100 円、15 歳以上 200 円です。

## **大会の日程**

ここでは年間約 10～15 回の大会が開催されます。徳之島全島のチャンピオンを決める栄えあるトーナメントは、毎年 1 月、5 月、10 月に開催されます。